

## 小学校五年

## チャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、第五学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、小学校五年国語「話すこと・聞くこと」にチャレンジしましょう。  
今から一回だけ、問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かない  
てください。聞いていて大切だと思うことは、表紙のあいているところにメモをしてもかまいません。

北野小学校の五年生は、少年自然の家に集団宿泊教室に來ています。朝のつどいで、となり町の南小学校とお互いに学校紹介をしたあと、質問をすることになりました。あなたは、北野小学校の一人として、朝のつどいに参加しているつもりで聞きましょう。また、紹介の内容や質問のしかたに注意して聞きましょう。

先生 それでは、南小学校から学校紹介、特に、学校でがんばっていることを紹介してください。

森 私は、南小学校の森です。私たち南小学校は、外国語活動がんばっています。外国語を使って積極的にコミュニケーションを図れるように、外国語を聞いたり話したりしていますし、日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知って、いろいろなもの見方や考え方があることを勉強しています。また、異なる文化をもつ人との交流などを体験して、理解を深めています。この前は、児童会が中心になり、アメリカから來られている十七人の大人の方をゲストにお迎えして、体育館で交流会をしました。はじめに、歓迎の意味を込めて英語の歌と日本の歌を歌いました。次に、コミュニケーションタイムで、班をつくってお互いに自己紹介をしたあと、いろいろなことを話したり聞いたりしました。二時間の交流会でしたが、ゲストの方々とも仲良くなることができました。

先生 南小学校の発表に、何か質問はありませんか。

坂口 はい。

先生 坂口さん、どうぞ。

坂口 わたしは、北野小学校の坂口です。南小学校の皆さんが、外国語活動をとてがんばっていることがよく分かりました。外国の方と交流するのは、お互いの国のことを知るいい機会になると思います。森さんは、交流をしてどんなことを思いましたか。

森 そうですね。日本とアメリカで同じだなあとと思うことやちよつと違うなあと思うことがあります。たとえば、同じだと思ったのは、じゃんけんのグー・チョキ・パーは、日本でもアメリカでも石・はさみ・紙を表すことです。違うと思ったことは、相手を呼ぶときに、日本は手のひらを下に向けて「おいで！」としますが、アメリカは、手のひらを上に向けて「おいで！」とします。

坂口 ありがとうございます。アメリカ以外のほかの国の方とも交流しているのですか。

森 そうですね。アメリカのほかに、去年はカナダの方々との交流をしました。この時も、カナダのいろいろなことを知ることができました。

坂口 いろんな国のことを知ることができて、いいですね。南小学校の皆さんが、外国語活動がんばっていることがよく分かりました。

放送はこれで終わりです。  
それでは、問題用紙を開いて始めてください。